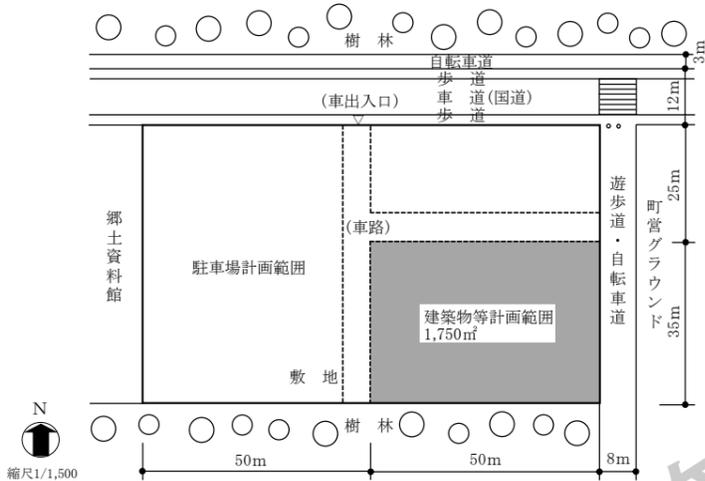


## I. 設計条件

この課題は、都市近郊の自転車道(サイクリングロード)が整備された地域の国道沿いに建つ温浴施設のある「道の駅」を計画するものである。本施設は、道路利用者や地域住民のための「休憩機能」、「情報発信機能」及び「地域の連携機能」の3つの機能を併せもつものとする。また、地震等の災害時においては、東側の町営グラウンドに避難することが想定されている住民に対する支援活動等の拠点としても機能できるように計画する。

### 1. 敷地及び周辺条件

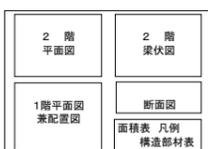
- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。この敷地のうち、建築物及びその他の施設等は「建築物等計画範囲」(■で示す)内に計画する。なお、「駐車場計画範囲」(道路利用者が24時間無料で利用できる駐車場を計画する。)については、車出入口と車路の一部の位置は計画されているものとするが、その他は考慮しなくてよい。
- 敷地は、平坦で、道路、遊歩道・自転車道及び隣地との高低差はないものとする。
- 敷地は、用途地域の指定のない区域にあり、建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



### 2. 建築物

- 構造、階数等  
構造種別は自由とし、地上2階建ての1棟の建築物とする。
- 床面積の合計  
床面積の合計は、1,600㎡以上、2,000㎡以下とする。  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
・「24時間利用」が明示されているもの以外の利用時間は、午後7時までとする。 ・適切な場所にまとまったスペースで150㎡以上の吹抜けを設け、1階と2階の空間の連続性を考慮した明るく開放的な空間となるように計画する。			
地域振興・交流部門	公衆便所	・道路利用者等が24時間利用できるようにする。 ・授乳室を併設する。	適宜
	情報ギャラリー	・道路情報コーナー、観光・周辺施設案内コーナー、防災情報コーナーを設ける。 ・エントランスホールに隣接させる。	
	飲食スペース	・飲食(郷土料理、軽食等)や休憩のためのスペースとして、80人程度が利用できるようにする。 ・厨房を2室設ける。 ・テーブル、椅子等を設ける。	
	販売スペース	・農産物直売コーナー、特産品販売コーナーを設ける。 ・惣菜加工室を設ける。 ・陳列棚、レジカウンター等を設ける。	約250㎡
	浴室	・浴室の利用は有料とし、浴室への入室前に料金の徴収、タオルの貸出し等を行う。 ・男性用、女性用として、それぞれ各浴室に脱衣室を設ける。 ・各浴室の屋外に露天風呂を設ける。 ・浴槽は、循環式浴槽とする。	1室当たり 約80㎡
	交流ラウンジ	・道路利用者や地域住民の交流、入浴後の休憩等に利用できるようにする。 ・キッズコーナー、自動販売機コーナーを設ける。 ・テーブル、椅子、ソファ等を設ける。	約120㎡
	多目的室	・展示会、会議、研修、ワークショップ等に利用する。 ・2室に分割して、それぞれ個別に利用できるようにする。	約120㎡
管理部門	エントランスホール	・案内カウンターを設ける。 ・風除室を設ける。	適宜
	管理事務室	・6人分の事務スペースを確保する。	適宜
	会議室	・15人程度が利用できるようにする。 ・職員や農産物の生産者等の会議に利用する。	
	職員控室	・男性用、女性用として、それぞれ各1室設ける。	
	物品倉庫	・冷凍冷蔵室を設ける。	
	荷解きスペース	・サービス用駐車場からの搬出入に配慮する。	
	ゴミ庫		
災害用備蓄倉庫		約30㎡	
設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	適宜	
・便所及び倉庫については、適切に計画する。 ・道路利用者等が24時間利用できるように公衆電話を設ける。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			



答案用紙I 図面レイアウト

### 3. その他の施設等

- 露店スペースは、地上に設けるものとし、施設利用者の動線に配慮して40㎡を確保する。
- 露天風呂を、男性用、女性用として、それぞれ各浴室の屋外に設ける。
- 「建築物等計画範囲」内に計画する駐車場は、地上に平面駐車とし、車いす使用者用として2台分(24時間利用できるようにする。)、サービス用として2台分を設ける。
- 駐輪場は、施設利用者用として30台分を設ける。
- (1)～(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

### 4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
  - 地域振興・交流部門と管理部門とを適切にゾーニングし、施設利用者動線と物品の搬入経路等が交差しないようにするとともに、避難等に配慮する。
  - 敷地の周辺環境に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
  - 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
  - 耐震性に配慮し、必要に応じて、耐力壁等を設ける。
  - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
  - 自然採光及び自然通風を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽にも配慮する。
  - 地震等の災害時においても、一定の機能を維持できるように配慮する。
  - エレベーターを適切に設ける。

## II. 要求図書

答案用紙I及び答案用紙IIの定められた枠内(寸法線は枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。(※答案用紙Iは、A2サイズの5mm方眼用紙)

### 1. 要求図面(答案用紙Iに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積 ニ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割りに応じて必要となる構造要素(必要により、凡例の空欄に名称・記号を記入し、図示する。) ホ. 設備シャフト〔パイプシャフト(P S)、ダクトスペース(D S)、電気シャフト(E P S)〕の位置 ヘ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ト. 断面図の切断位置 チ. 露天風呂 リ. 要求室の特記事項に記載されている什器等 ② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 露店スペース ハ. 「建築物等計画範囲」内の駐車場(台数を明示する。) ニ. 駐輪場(台数を明示する。) ホ. 通路・植栽等
(2) 2階平面図 1/200	③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から直通階段の一に至る歩行距離及び経路 ロ. 1階の屋根、ひさし等となる部分
(3) 断面図 1/200	① 切断位置は、150㎡以上の吹抜け空間を含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(4) 2階梁伏図 1/200	① 2階からの見下ろし図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱(C1)、大梁(G1)、小梁(B1)及びスラブ(S1)の断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号・部材・断面寸法を追加記入する。

### 2. 面積表(答案用紙Iに記入)

地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。(※算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)

### 3. 計画の要点等(答案用紙IIに記入)

- 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 販売スペース及びエントランスホールについて、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
  - 150㎡以上の吹抜け空間の計画について工夫したこと
  - 地震等の災害時において、住民に対する支援活動等の拠点として機能させるために工夫したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
  - 建築物の耐震性について工夫したこと
- 設備計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 吹抜け空間における空調設備計画において、快適な温熱環境を提供する観点から注意すべき点及びその対応策(空調の吹出口の位置・形式、吸込口の位置等)
  - 循環式浴槽の設備計画について工夫したこと
  - 地震等の災害に対する設備計画について、「停電」及び「断水」に対する対応策を記述すること(停電や断水は3日程度を想定する。)